| 事業者・団体名 | 関係機関との連携活動 | 広報·啓発活動 | パトロール活動 | 少年の非行防止 青少年の健全育成活動 | 安全・安心まちづくりに ついての話し合い、協議 | 防犯研修会(教室) の開催 | 街頭活動、街頭キャン ペーンの実施・参加 | 犯罪防止に配慮した 環境整備 | その他 |
|-----------------------|---|--|---|---|--|--|--|---|--|
| 長崎県退職者連合 | | 〇年間4回発行の広報 誌に「ニセ電話詐欺」の 注意喚起記事を掲載。 | | | | ○「高齢者が安心・安心に暮らすには」をテーマに、二セ電話詐欺と交通安全対策の学習会を実施した。 | 小学校通学路で立哨見 | | |
| 長崎県私立幼稚園・認定こども園PTA連合会 | 〇各加盟園における「生活安全ニュース」「もって こいネットワーク通信」の 活用。 | | 〇各学校区内におけるパ トロール活動に参加。 | | 〇長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり推進 県民会議への参加。 | | | | |
| 長崎市PTA連合会 | ンター等)との連携に努めた。また、育成協・子どもを守るネットワーク等との連携・協力を図った。 | ○広報紙研修会の開催。 (各PTA) ○単PのPTA新聞による 広報・啓発活動に努め | 辺の巡回指導。 (各PTA) 〇登下校時の見守り活動、校区内パトロールの 実施。 〇IOO人パトロールの実施。 | スター) を配布し、ルール づくりや制限の必要性に ついて呼びかける。 〇通信端末機使用につ いての研修会実施(ファ ミリープログラム) | くり推進協議会への参 | (各PTA) ○メディアルールの啓発(チラシの配布) ○メディア関連の研修会の開催。 | レードへの後援や参加協力。 〇「ながさきエコライフ・フェスタ」における清掃 活動に市P連役員が参 | ○大型商業施設及び周辺の 巡回指導。 ○100人パトロールへの参加。 (各PTA) ○危険箇所のチェック。 | ○単位PTAを中心に 「ファミリープログラム」 を実施。 ○安全安心メール加入 促進。現在、各単P会長 全員加入。 |
| ダイヤランドまちづくり連絡協議会 | 下、4年ぶりに「第16回 防犯パレード」を210名 の参加者で実施した。 又、消防機関・市危機管 | のツールとして毎月「まちづくり通信」を1,800 部作成して会員各戸に配布して、協議会活動への理解と協力を得るよう | | | 〇年間4回の全体会で、 適宜、小ヶ倉交番の警察 官に管内の事故・事件の 発生件数や発生した犯 罪等の説明を受けて防 犯についての考え方等を 学んだ。 | | 210名。2003年協議 | | 体である 育成協・育友会・子どもを守るネットワーク等の事業も協議会の事業の一環と捉えて、協力しあって取り組んで |
| 長与北部地区コミュニティ運営協議会 | | | ○青パト隊によるパト ロール。児童の下校時の 安全指導及び夜間パト ロールを実施。 | | | | /L/~0 | | |
| (公財)長崎県老人クラブ連合会 | | 目の「生活と地域を豊かにする活動」の一環として「防犯、安全対策、交 | し「地域(子供)見守りパ トロール活動」を実施し | て学校・子供会等に対す | | | | | |
| (一財)長崎県地域婦人団体連絡協議会 | 協力1 た | ○広報紙や研修会等で 啓発を図った。 | ○各地区にて通学路で の登下校時に「あいさつ 運動」「見守り活動」を 行った。 | | | | ○ココロねっこパレードへの参加。 ○暴力追放「いのちを守る」長崎市民集会への参加。 | | |
| 長崎県生活学校連絡協議会 | | | | | | | | | |

| 事業者・団体名 | 関係機関との連携活動 | 広報·啓発活動 | パトロール活動 | 少年の非行防止 青少年の健全育成活動 | 安全・安心まちづくりに ついての話し合い、協議 | 防犯研修会(教室) の開催 | 街頭活動、街頭キャン ペーンの実施・参加 | 犯罪防止に配慮し た 環境整備 | その他 |
|-------------|---|--|----------------------------|--|----------------------------|---|---|--------------------|---|
| 長崎県警友会連合会 | のない安全・安心まちづ くり推進県民会議等と連 | 事故防止対策」を掲載 し、会員及び各種会合等 | 金融機関、ATM周辺に おける声かけ、警戒等に | 年の非行防止のため、巡回パトロールを実施した。 | 全・安心まちづくり推進県民会議へ参加し、活動 | | ○交街交通明 のでは、 でいる、 でいる。 でいる、 でいる。 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる、 でいる。 で | | |
| (一社) 長崎県医師会 | ないが、例年、長崎犯罪 被害者支援として同センターの活動を支援して同センターの活動を立援しての る。県警察・県医会の 類により、科医会のでは 、保証、保管と、性犯罪といる。 を会がネットワークを 、大利を 、大利を 、大利を 、大利を 、大利を 、大利を 、大利を 、大利 | 師会員に周知すべき事 案についてはその都警の 応している。また、県警の 防犯情報「もってこい ネットワーク通信」及び 「サイバーセキュリティ関 連情報」発信等で防犯 意識を高めると共に、県 警サイバー犯罪対策課と | | ○学児では、 ででは、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 でで、 | | ○サイバー攻撃を未然に防止するため、県警等と「長崎県サイバーセキュリティに関する相互協力協定」を締結し、情報共有目的にセキュリティ対策研修会等を実施した。 | | | 〇長崎県こども政策局と 県を帰っため、 県のため、 展のが協力し、 展をが協力し、 を を が持い が持い は で が が 持い は る の た が は る の た の た が は る の た の た の た が は る の た の た の た が は る の た の た の た の た の た の た の た っ た っ た っ た |
| 日本放送協会長崎放送局 | ○報道機関として、行政・ 警察他関係機関への取 材活動を通じて、安全・ 安心の情報を発信した。 | | | | | | | | |
| (株)長崎新聞社 | 体とのコミュニケーション も対面でできるようにな り、長崎新聞の紙面・ネッ トニュースを通して安全・ | 安全・安心なまちづくりに 向けた取組、政府の動き などを紙面・ホームペー ジで発信したほか、高齢 者らを狙った特殊詐欺の 手口、犯罪統計なども記 事化した。 | | 〇青少年健全育成活動 は、活動の記事化を通し て現場の様子や地域ご との課題を発信した。 | | | | | |
| 国立大学法人長崎大学 | | ○禁止薬物に関する講 話により啓発を図った(4 月・12月に実施) | | | | 〇消費者トラブルに関する講話 (新入生向け)を実施。 | | | |

| 事業者·団体名 | 関係機関との連携活動 | 広報·啓発活動 | パトロール活動 | 少年の非行防止 青少年の健全育成活動 | 安全・安心まちづくりに ついての話し合い、協議 | 防犯研修会(教室) の開催 | 街頭活動、街頭キャン ペーンの実施・参加 | 犯罪防止に配慮した 環境整備 | その他 |
|--------------------|--|---|--|---|--|--|---|---|---|
| (公社) 長崎県防犯協会連合会 | 〇県、警察、県下各地区 防犯協会及び連携し、犯 罪なく3ば運動、二セは 罪なく3は運動とした各種犯罪防止 がまに積極的に取り組 んだ。 | | 体に対し、活動用資器材 及び活用資料を提供す るなどの支援を行った。 | | 〇長崎県犯罪のない安 全·安心まちづくり推進 県民会議に参加した。 | ○風俗営業等管理者に対する講習会を開催した。 | 〇12月15日、岩田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田田 | アと合同で落書き消し活動を 実施した。 ※ 実施個所~南島原市内 | |
| 大村市竹松地区防犯協会 | | 及び防犯チラシの配布、 20町内会長に啓発活動 実施。 | の原小学校及び竹松小 学校区に対し、青色回転 | 学路をパトロール及び地 | | ○大村市連合防犯協会理事 会及び総会に参加。二セ電話 詐欺が依然として減少しない ため撲滅宣言の実施。 | 街頭キャンペーンの実 | ○各町内会は犯罪行為の場所にならないよう各公園広場の清掃、樹木の剪定を定期的に実施。 | ○防犯灯新設 ·竹松地区防犯協会単 独予算(新設5基) ·大村市連合防犯協会 予定(竹松地区新設18 基) 計23基。 |
| 長崎県少年補導員連絡協議会 | ○令和5年度「ココロねっ こ」運動への協力参加。 長崎県青少年育成県民 会議への参加。 ○青少年の非行・被害防 止全国強調月間に伴う 行事等への参画(7月) | ド」への後援・協力(II 月) 〇子供・若者育成支援推 進強調月間に伴う非行 | ○各地区による随時街 頭補導の他、毎月1回街 頭補導を実施。 | 頭補導の他、月1回街頭 補導を実施。 〇祭礼行事等における 特別補導の実施。 〇児童生徒の登下校時 | づくり推進県民会議出 席。 | 〇各地区少年補導員の技量 向上のための各種研修会の 実施。 | ○各地区の行事に合わせた少年非行・犯罪防止キャンペーンの実施。 ○20歳未満飲酒防止並びに飲酒運転撲滅全国統一キャンペーンに伴う協力・参加。 | | ○少年補導員としての技量の上を目的とした各種研修会への参加。 ○全国少年警察ボランティア協会主催「少年問題シンポジウム」出席(II月:東京都) ○警察庁主催「少年警察ボランティア・リーダーシップ研修会」出席(2月:東京都) |
| 浦上警察署管内少年を守る母の会連合会 | ₩ t- | ○ココロねっこパレードに 参加。 ○年末キャンペーンに参 加。 | ○各地区で実施。 | ○登下校の見守りを行 う。 | 〇長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり推進 県民会議への参加。 | | | | |
| 長崎県二輪車自転車商協同組合 | 〇浦上署警察署交通課 の方に街頭にて自転車 利用者を止めてもらい、 自転車のヘルメット着用 の確認とブレーキ、リフレ クタ等の点検を実施。 | | | | 〇長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり推進県民会議、安全・安心ま ちづくり長崎県大会(大村市)へ出席。 | | 方と街頭にて自転車の | 〇県内の小中高校で自転車 の安全点検時に防犯登録の 推進と自転車盗難防止のた めの鍵の二重ロックの必要性 の講習会を実施した。 | |

| 事業者·団体名 | 関係機関との連携活動 | 広報·啓発活動 | パトロール活動 | 少年の非行防止 青少年の健全育成活動 | 安全・安心まちづくりに ついての話し合い、協議 | 防犯研修会(教室) の開催 | 街頭活動、街頭キャン ペーンの実施・参加 | 犯罪防止に配慮した 環境整備 | その他 |
|--------------|---|--|---|--|--|--------------------------|-----------------------------|---|-----|
| (一社)長崎県建設業協会 | | ○「全国交通安全運動」 (春·秋)、「交通安全県 民運動」(夏·年末)の 長運動」(夏·年末)の 同本について、HPにより会 員へ周知・協力依頼。 ○暴力追放運動など職 員を対象とした所内回 覧。 | | | ○長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり推進 県民会議への参加。 | | | | |
| (一社)長崎県建築士会 | 〇悪徳なリフォーム業者は一向に減らない。消費者自身が賢く、強くならなくては防げない。何事も自分で調べることの重要性を啓発。 | | | 〇仕事場への行き増えての挨拶が、コロリアででは、 の大が、コロリか、では、 ではいる関じこもりか、には、 ではいないででは、 では、 では、 でが、これがでいるでは、 では、 では、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが、 でが | 県民会議へ参加。 | | | | |
| (一社)長崎県警備業協会 | 会に出席し、警察本部、 暴追センター等と連携し て、暴排活動を推進し た。 〇暴追センター理事会に 協会会長が出席した。 | ○協会発行の機関誌で、 二セ電話詐欺被害防止 の広報路発行の機関誌で、 の広報路が表示。 のた。(第77号、令和6年 2月発刊) ○「警備の日」の広報 キャンペットのにおいても ・はいいのにはののにはいいでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で | パートナーシップ事業 所」として登録している9 社の警備業者において、 見守り活動、ATMコーナーでのニセ電話詐欺 被害防止のパトロール活動を実施した。 〇青パト登録の警備業 者「トラスト」」により、長 | 下校時間帯における通 学路での見守り活動を 実施した。 | 全・安心まちづくり推進県民会議に出席した。 | に参加した。 ○「テロ対策パートナーシップ | ンペーンを実施し、安全・ 安心まちづくりやニセ電 | ○「安全・安心まちづくりパートナーシップ事業所」の幟を事務所に掲示し、取組事業所であることの周知に努めた。 | |
| 長崎県中小企業団体中央会 | した「サイバーセキュリ | ○ココロねっこパレード (II月)への後援及び 参加。○「犯罪なく3ば運動」の 啓発。 | | | ○長崎県犯罪のない安 全·安心まちづくり推進 県民会議(6/12)への 参加。 | | | | |
| 長崎県商工会議所連合会 | ○イベントの実施等につ いて所轄警察署と事前 協議を行った。 | | | | ○長崎地区暴力追放運 動協議会への参画。 | | | | |

| 事業者·団体名 | 関係機関との連携活動 | 広報·啓発活動 | パトロール活動 | 少年の非行防止 青少年の健全育成活動 | 安全・安心まちづくりに ついての話し合い、協議 | 防犯研修会(教室) の開催 | 街頭活動、街頭キャン ペーンの実施・参加 | 犯罪防止に配慮し た 環境整備 | その他 |
|---------------------|--|--|---|---|--|---|-------------------------------------|--|------------------------|
| 長崎県商工会連合会 | 〇時津警察参問している。 一時津警察参問している。 一時連覧をできる。 一時にできる。 一時にできる。 一時にできる。 一時にできる。 一時にできる。 一時にできる。 一句にできる。 一つにできる。 一のにでをできる。 一のにでをできる。 一のにできる。 一のにでをできる。 一のにでをでをできる。 一のにでをできる。 一のにでをでをできる。 一のにで | 心・安全まちづくり宣言 の募集に係る周知を行っ た。 ○全国交通安全運動の | | | ○長崎県犯罪のない安 全·安心まちづくり推進 県民会議への参加。 | | | ○屋外防犯カメラによる24時間常時録画と警察への協力。 ○吉井町街路灯組合、世知原 街路灯部会、小佐々町街路灯 組合を支援し、各町内の街路 灯維持により夜間防犯を図った。 | |
| (一社) 長崎青年会議所 | ○長崎県犯罪のない安全・安心まちづくり推進県民会議への委員参加。 ○長崎市安全・安心まちまちづくり推進協議会への委員参加。 | | | ○青年育成事業の実施。 | | | | | |
| 浜市商店連合会 | | (振り込め詐欺、自転車・ スケートボードの乗り入 れ禁止、ポイ捨て、喫煙 | 動を実施。 〇アーケード設備の点検 を実施した(夜間照明)。 | ○万引き防止活動については各店で実施継続中。 ○浜んまちガーデン内における高校生への声かけ。 ○丸山交番との連携。 | 〇定例開催の理事会で 情報を共有し、対策等を 協議した。 | | | ○防犯カメラ運用規定遵守と 捜査への協力を行った。32件。 ○通勤通学及び夜間の通行 に配慮したアーケード照明の 点灯。また、冬季・雨天時の照 明時間の柔軟運用を行った。 | |
| させぼ四ケ町商店街協同組合 | ○防犯カメラの閲覧、撮 影の協力。 | 放送での呼びかけ。 | ○売台の設置状況の見回り、道路・アーケードの 天井の破損等の見回り。 | | | | | ○防犯カメラの運用·犯罪捜 査協力。 | |
| (株)ファミリーマート 九州リージョン | | 動) | ○関係部署から依頼が あったポスター・チラシ等 を店舗で設置・掲示し協 力を行った。 | しておりませんが、随時 | | | | ○全店防犯カメラ設置。 ○特殊詐欺防止について各店 にて声掛け等実施。 | 〇セーフティーステーショ ン活動実施。 |
| 長崎県金融機関防犯連絡協議会 | 犯協会と地元警察署と 連携した防犯訓練(振り | ○「犯罪のない安全・安 心まちづくり推進旬間ポ スターを会員向け配布。 ○県警の要請に基づく会 員へのタイムリーな広 報。 | | | | ○県警本部より講師を招き会 員向けに防犯業務実務担当 者研修会を開催。 | ○各地区防犯協会開催 の防犯運動への参加 (各地区金防協) | | |

| 事業者・団体名 | 関係機関との連携活動 | 広報·啓発活動 | パトロール活動 | 少年の非行防止 青少年の健全育成活動 | 安全・安心まちづくりに ついての話し合い、協議 | 防犯研修会 (教室) の開催 | 街頭活動、街頭キャン ペーンの実施・参加 | 犯罪防止に配慮した 環境整備 | その他 |
|--------------------|--|---|-------------------------------------|------------------------------------|--|--|-------------------------|---|-----|
| 日本貸金業協会長崎県支部 | を行った(協会本部より管視庁へ)〇行政機関・消費生活行と、当費生活行の機関・消費を活動の共有情報の共名種情報のた。〇開催された多重債務協議会にした。 | に関する啓発資料等を 窓口に備置及び配置し、 消費者等の被害防止・ 啓発を行った。 ○協会のホームページに | | 月グ平の梃王育成活動 | つい (の)品し合い、協議 | の開催 | ベーンの美施・参加 | - 块块 | |
| 長崎県校長会 | 110番の家」の周知を図るとともに、交通指導員、 少年補導員、警察等との 連携・協力のもと、情報 | し、学校・家庭・地域で子 供についての情報の共 | 人パトロール」や学校区 内の地域行事等でのパトロールを実施した。 | ネットワークパトロールを | ミュニティ協議会等にお | ○各学校で警察等関係機関 に協力していただき、メディア 研修会等を実施した。 | | ○通学路の死角、たまり場、空き家等の危険箇所がないか確認を行った。 ○防犯ブザーの点検を促した。 | |
| 長崎県高等学校長協会 | | ○学年集会やホームルームで情報提供し、注意喚起を行った。 | | | 育成協議会において、地域の方々と情報共有を | ○外部講師を招へいして薬物 乱用防止教室や危機管理教 室を実施した。 | | | |
| 長崎県私立中学高等学校協会 | | ○もってこいネットワーク 通信の回覧。 | | | ○長崎県犯罪のない安 全·安心まちづくり推進 県民会議への出席。 | | | | |
| 長崎県私立幼稚園・認定こども園連合会 | ○各加盟園における「生 活安全ニュース」「もって こいネットワーク通信」の 活用。 | | 〇各学校区内におけるパトロール活動に参加。 | ○「子どもを守る長崎ひ まわりプロジェクト」への 参加。 | | | | ○各加盟園の状況に応じた防 犯カメラ等の導入、ガードマン 等の配置。 | |

| 事業者・団体名 | 関係機関との連携活動 | 広報·啓発活動 | パトロール活動 | 少年の非行防止 青少年の健全育成活動 | 安全・安心まちづくりに ついての話し合い、協議 | 防犯研修会 (教室) の開催 | 街頭活動、街頭キャン ペーンの実施・参加 | 犯罪防止に配慮した 環境整備 | その他 |
|-------------------|--|---|--|---|---|-------------------|---|--|-----|
| 長崎県PTA連合会 | ○県警及び県教委、県こ ども未来課等の関係諸 機関との連携強化。 | | における子どもを見守る | ○いじめ防止としめとした。 根絶対象の「いしめ防止としめ防止としめ防めとしかで見た。 び、児を実校、23,802作品である。 ○ストリンを実校、23,802作品である。 ○スルタリンをようです。 のスルルタどまられたである。 ○スルルタどまられたがです。 かされたとがです。 かされたといいでは、 をもるる保をを会するができます。 のでは、 のでした。 のでは、 | してPC・スマホで閲覧できる「あんぜんmyマップ」を県P連が提供し、会員への周知に努めた。 | | ○「ダメ。ゼッタイ。」ヤン グ街頭キャンペーン、ココ ロねっこパレードへ参加。 | | |
| 長崎県私立中学高等学校PTA連合会 | | ○もってこいネットワーク通信の回覧。 | | | ○長崎県犯罪のない安 全·安心まちづくり推進 県民会議への出席。 | | | | |
| 県民会議壱岐支部 | | | 〇県下一斉パトロールに 参加し、啓発活動の推進 を実施することができた。 | 等の窃盗などを起こさな | | | ○交通安全運動キャンペーン等において、チラシ、啓発用グッズの配布を行った。 | 〇市内各港、空港、主要な道 路交差点の防犯カメラの常時 運用(常時録画)できるよう維 持管理に努めることができた。 | |
| 県民会議新上五島支部 | | ○防災行政無線放送に て住民の犯罪意識の高 揚を図るための啓発活 動を実施。 | 〇犯罪のない安全・安心 まちづくり推進旬間の10 月11日に防犯パトロー ルを実施(魚目小学校 区) | | 〇新上五島町生活安全 推進協議会を開催(9月 28日開催) | | ○防犯パトロールの際に 各家庭のポスト等へ啓発 チラシを投函。 | | |
| 県民会議五島支部 | ○警察·町内会等と連携 し、防犯巡視活動を実 施。 | 〇公共機関等に啓発ポ スターを掲示。 〇防犯パレードへ参加。 | ○防犯巡視活動6回。 ○青パト・見守り活動7 回。 | | | | 〇年金支給日に合わせて、商業施設でのニセ電話詐欺被害防止キャンペーンへ参加4回。 | | |